

## 恵那高総合学習指導案(例)

学年テーマ：「沖縄」		＜第16時間目＞	第2学年
<p><b>本時の目標</b></p> <p>沖縄での2日目(総合学習の日)に行くコースの決定及び計画の更なる具体化 電話によるアポイントメント及び文書による依頼状作成の学習</p>			
<p><b>クラスの状況</b></p> <p>本時までには、時間単位程度の行動計画表が完成しているはずだが、曖昧な計画の班もある</p>			
	ねらい	指導内容と生徒の動き	留意点
導入 5分	自分たちが実際に行く事を認識させる	行動計画表が完成されているか確認し、本当にその通り行動できるのかイメージさせる	
展開1 15分	行動計画をより具体化する	<p>各班毎に机を寄せ、コースのチェック（机間指導）</p> <p><b>コースが完成している班の場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪れたい場所の住所や電話番号を調べる</li> <li>・何を聞きたいのか、何が体験したいのか具体的に（具体化の過程でテーマを深めることができる）</li> </ul> <p><b>コースが曖昧な班の場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班のテーマに立ち返り、班の疑問や仮説を検証するためのコース作りをする</li> <li>・何のためにどんな所に行きたいのかイメージする（いくつか訪問先を挙げさせコース化する）</li> </ul>	参加していない生徒に参加を促す
展開2 10分	自分たちでアポイントメントがとれるようになる	アポイントメントの取り方の指導 <b>&lt;別紙参照&gt;</b> 例に従い、自分達の訪問先へのアポイントメント原稿を作成 作成原稿をもとに口頭練習	
展開3 10分	自分たちで依頼状が書けるようになる	依頼状の指導 <b>&lt;別紙参照&gt;</b> 例に従い、依頼状を作成	
まとめ 5分		時間がなくなるので、後は各班で残りの作成作業をし、アポイントメントを取るよう指導(原稿は担当がチェックする)	形式ではなく、気持ちの表現であることを強調

### 指導上の留意点

今回の総合学習での2つのポイント

#### コースをより具体的なものにする

コースを具体化するにあたっては、必ず自分たちのテーマ、疑問、仮説に立ち返り、それらに答えを与えてくれそうな所に行く、という順序を守らせる。行きたいところが先ではなく、どんな所に行きたいかを決めてから具体的な場所を探す。そして、そこで聞きたいこと、見てきたいもの、体験したいものを更に具体化する。

#### アポイントメントの取り方や依頼状が作成できるようにする

によって、その場所へ行く目的がはっきりしたので、それをアポイントメントや依頼状に明記し、相手に自分たちの意図をはっきり伝える。が曖昧だと も曖昧になってしまうため、作成できない班は へたち返らせる。